

それぞれの歩幅で、たくましく成長した子ども達！

～第一学期を振り返り～

早いもので第一学期も締めくくりの日を迎えました。4月の頃を思い返すと、不安そうな表情で登園していた子、教師のそばから離れられなかった子、何をしても戸惑っていた子… そんな子ども達の姿が、今ではずいぶん頼もしく感じます（笑）

つぼみぐみの子ども達は、自分の持ち物の管理、後片付け、靴の着脱、食事のマナーなど、毎日の生活の流れを繰り返し経験することで、少しずつ習慣として身に付いてきました。まだまだ教師の手助けが必要ですが、「自分でやってみよう！」とする姿が増えてきたことは大きな成長です。また、遊びの様子も一人遊びから、友達と近くで遊ぶ姿、同じ遊びを真似する姿、少しずつ友達と関わろうとする姿へと変わってきました。教師との信頼関係も深まり、園生活への安心感が大きくなってきたように感じます。

年少児は、つぼみぐみからの進級児が良く環境となり、4月から入園してきたお友達にとって大きな支えになってくれました。体操やリズム活動、生活習慣など、日々の園生活の中で、進級児達が手本となる姿は、まさに子ども同士が育ち合う白ゆりらしい光景でした（笑）

年中・長児では、逆立ち歩きに挑戦する子が一気に増えました！ 逆立ち歩き、跳び箱、縄跳び、読み書き、鍵盤ハーモニカ、ハーモニカなど、園生活の中には取り組む課題がたくさんありますが、その一つひとつに自ら進んで挑戦し、たくさんの失敗と成功体験を重ねていく子ども達の姿は、本当に頼もしいものです（笑）

“自信の種”から“意欲の芽”が顔を出し始めた第一学期！

第二学期には、大きな花を咲かせてくれることでしょう！

第一学期も、保護者の皆さまの温かいご理解とご協力に支えられ、子ども達は安心して園生活を送ることができました。毎日の送り出しや準備、園からのお問い合わせへの対応など、日々のお力添えに心より感謝申し上げます。二学期も、子ども達の小さな成長を見逃さず、一人ひとりの歩みに寄り添いながら保育を進めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。皆さま、どうぞご家族で笑顔あふれる楽しい夏休みをお過ごしください。

札幌白ゆり幼稚園 スタッフ一同



7月25日（土）は、白ゆり幼稚園夏の恒例行事「白ゆりマルシェ」が開催されます！

開店11:00ー閉店14:00 ご家族揃って夏の日をお楽しみ下さい（笑）



☆☆☆夏休み生活カレンダー☆☆☆

夏休みは、子ども達にとってご家族とゆっくり過ごせる楽しい時間です。一方で、園生活の中で整ってきた生活習慣が崩れやすい時期でもあります。心と体の健やかな成長には、「早寝早起き」「適度な運動」「バランスの良い食事」が大切です。

夏休み期間中は、“夏休み生活カレンダー”を活用し、毎日の生活リズムを意識して過ごして下さい。これまでの園生活で継続してきた“3トレ”に加え“お手伝い”にも挑戦して下さい。

きちんとできた日は、カレンダーに好きな色を塗ります（笑）

小さな積み重ねが、第二学期からの園生活への自信と意欲に繋がります。

♡♡♡「ありがとう」が育てる自信と意欲♡♡♡

幼児期の「お手伝い」は、お子さんの心の成長にとって、とても大切な経験になりますよ（笑）お手伝いというと、大人の仕事を手伝うことのように思われがちですが、幼児期の子供にとっては、「自分も家族の役に立てた！」と感じる貴重な機会になります。

パパやママのお手伝いをした時、「ありがとう！」「助かったわ！」と、声をかけてもらうことで、お子さんの心には「パパが喜んでくれた！」「ママの役に立った！」という満足感や達成感が残ります。この経験は、お子さんの自信となり、次もやってみようとする意欲へと繋がっていきます。

もちろん、上手にできる必要はありません。タオルをたたむ、靴を揃える、食器を運ぶ、植物に水をあげる、ペットの餌やり… お子さんが無理なくできる小さなお手伝いで十分です。大切なのは、結果の出来栄より、「家族の一員として参加したこと！」を認めてあげること…

夏休みは家族で過ごす時間が増える良い機会です。ぜひ、毎日の生活の中で小さなお手伝いに挑戦し、「ありがとう！」がたくさん行き交う温かな時間を大切にしていいただければと思います（笑）



=楽しい夏休みを安全に過ごすために=

夏休みを楽しく過ごす計画を立てているご家庭も多いことと思います。海水浴、キャンプ、バーベキュー、川遊び、花火、夏祭りなど、夏ならではの遊びは子ども達にとって心に残る大切な経験になります。

夏の遊びは、開放的で楽しい反面、毎年のように痛ましい事故や事件のニュースを耳にする時期でもあります。特に水辺や人の多い場所、火を扱う場面では、ほんの瞬間の油断が大きな事故につながることもあります。

楽しい家族の時間だからこそ、お子さんの「手を離さない！」「目を離さない！」ことを改めてお願いいたします。「少しくらいなら大丈夫…」ではなく、「今この瞬間を見守る」ことが、お子さんの命と安全を守る一番の備えです。

どうぞ安全には十分に気を付けながら、今年の夏の楽しい時間をお過ごし下さい。

